



港区子育てひろば あっぱい台場、知ってる？

『あっぱい台場』は「ハッピー」の幼児語から名付けられたそうです。港区民なら誰でも無料で利用できる、親子の子育てひろばです。生まれたての赤ちゃんから3歳くらいまでのお子さんが、保護者の方いつでも気軽に安全に遊ぶお部屋です。授乳室もおむつ替えスペースも、すぐ隣にあります。

最初、ちょっと入りづらいかな、なんて思ったけど、入ってみたら赤ちゃんもママもご機嫌。初対面の方ともすぐに和気あいあいと話せて、ママ友もいっぱいできました！仲良くなったら、お友達に何でも話せて、とっても安心。けっこうみんな同じことで悩んでいますよね。月齢に合わせた『ふれあいタイム』や、創作の講座『つくっちゃお!』や、専門家による育児相談、いっぱい利用して、一緒に楽しく子育てしましょう！



あっぱい台場
http://www.appydaiba.jp/
みなと子育てネット
http://www.city.minato.tokyo.jp/kosodate/

5月の「ふれあいタイム かえる」で取材しました！

いま大変なのってどんなこと？ 0歳児ママに聞いてみました！

6～11か月のお子さんの集まる『ふれあいタイム かえる』でインタビュー！



- 目が離せない！何でも口に入れちゃったり、転んじったり。(8か月 男の子)
- 大柄な子なので重くて、手首を痛めて、最近ずっと湿布に包帯です。(8か月 男の子)
- なかなか寝てくれないです。抱っこで寝たと思って降ろすと起きて大泣きです。(6か月 女の子)
- 自分が風邪をひいた時、つらかったです。手伝ってくれる人がいないので。(6か月 女の子)
- 昼も夜もおっぱいで大変！まだ夜中に何度も起きています。卒乳できるかな？(10か月 男の子)
- すぐ家の電源プラグを抜こうとします。まだ叱っても分からないので難しいです。(11か月 男の子)
- 寝返りが得意なのは良いのですが、おむつ替えの時ゴロンゴロンされて、すごく疲れます。(8か月 男の子)
- これから3回食です。メニュー考えるのも大変だし、お出かけとかどうするんだろう？(9か月 女の子)
- 離乳食の内容が同じようなものばかりになっちゃう。この時期食べた方が良いのは何？(9か月 女の子)
- アレルギー対策が気になります。(9か月 女の子)
- お友達が遊んでるおもちゃが気になるらしく、すぐ奪って泣かせてしまいます。(11か月 男の子)
- リモコンを口に入れるのが大好きで、よだれて故障しました。(11か月 男の子)



赤ちゃんをゴロゴロさせたり、高い高いしたり。みんなでやると楽しいですね。

みんなそれぞれの悩みを抱えつつ、「やっぱり子どもはすごく可愛い！」と、これはどのママさんも共通のようですね。みなさんの育児に真剣でひたむきな姿勢が印象的でした。

あっぱいに来てよかった！って思ったのは、同月齢やほんの少し先輩のママに話を聞いて、生きた情報が得られること。最初は、子どもと自分の気分転換に、なんて思って来てみただけで、思った以上にママがリラックスできてどんどん話せて、お友達も出て、良いことばかり。毎日でも行きたいです。(インタビュー:1歳1か月 男の子のママ)

その他の台場地区の子育てプロジェクト

子育てあんしんプロジェクト

芝浦港南地域の保育園や児童館で保健師・助産師・栄養士が育児相談等を実施しています。身長・体重も計測できます。台場地区では、台場児童館・台場保育園(台場分室多目的室)で月1～2回開催しています。いつでも自由に参加でき、また気軽に相談ができます。いろいろな悩みを相談に来る方やお友達をつくりに来る方などで毎日にぎわっています。

たんぼぼクラブ

4歳頃までのお子さんと保護者が自由に遊ぶ交流の場です。特にプログラムはなく、身長体重測定があり、民生・児童委員など地域のボランティアの方が、一緒に遊んだり、気軽に話したりします。区内7か所で月1回開催。台場児童館でもやっています。いつでも自由に参加できます。

かもめキッズ☆ぶち

4か月から就学前までのお子さんたちが月齢ごとに4つのグループに分かれ、それぞれ月に3回程度集まって30分程度の体操や歌などプログラムを行った後、自由に交流します。児童館2階で申し込みを受け付けています。



べいあっぷ 環境レポート



杉の子人の子みんなの子 手塩にかければ日本の宝

少子化対策が論じられています。戦中戦後でしょうか、生めよ増やせよの時代がありました。そして植林を奨励する唱歌もありました。

日本で人工林の植樹が始まったのは、江戸時代中期からだそうです。寺院や家屋の建築材や燃料にも、大量の木材が使われ、山が荒廃しました。東海道五十三次に描かれた風景の山々も、よく見れば樹木がまばらです。

現在、日本の森林率は67%、人工林は1,000万ヘクタール、森林の蓄積は戦後60年間で2.5倍に増えていますが、安価な輸入材に席卷された林業は荒れ、放置された森林が多いそうです。命の水をも生み出す緑の山々にも手当が必要です。

豊かな森は温暖化の原因となっている二酸化炭素を吸収して貯え、樹木は雨水を受け水脈をつくり酸素を供給し、災害をも防止し豊かな海産資源の源でもあり、人間の生存に欠かせない自然の恵みの根源です。先人たちが植林したヒノキや杉の人工林は、人間と同じく、環境を整え、手をかけ育て続けることが必要です。間伐せず放置されたままの人工林は日も当たらず、森本来の役割を果たすことができません。それは同じ自然界に生きる人間も同じこと。人の子も杉の子も、手塩にかければまっすぐスクスク育ちます。

目には見えませんが、人間の生存に欠かせない酸素を、国民の年間呼吸量の2倍に相当する7,100万トン放出してくれる森林の底力を認識することが必要に思えます。

ここ数年、森林の再生に取り組む行政や企業が増え、港区にもあきる野市に区民の森や里山ができました。環境問題に関心のある方は森林浴を兼ね、環境学習に参加してみませんか。心身が癒されリフレッシュすること请け合いです。



みなと区民の森(あきる野市)

干潟の観察会を行いました

5月15日、「お台場ふるさとの海づくり事業」の一環で、台場児童館の子どもたちを中心に干潟の観察会が行われました。

快晴となった当日、4月に児童館の水槽からお台場の海に移植したアマモの生育状況を水中ビデオで観察し、潮が引いてからは実際にアマモの長さを計測しました。

その後、干潟の観察会を行い、砂浜では熊手とバケツを使って、貝・ガザミ・ハゼ・ゴカイなど干潟の生き物を見つけては、指導員に確認し、理解を深めていました。



今年もエコレンジャーがんばります！



海に行く前にお勉強



干潟にはどんな生きものがあるのかな？



アマモは成長してるかな？

品川駅港南口の企業が同時に清掃活動！～企業も自主的に活動しています

5月26日、グランドcommonsの企業5社とココヨ株式会社は、品川駅～ハツ山アンダーパス間と港南1丁目周辺、それぞれの地区で同時に清掃活動を実施しました。

今までは、別々に独自の活動を行っていましたが、今回、品川駅港南口の企業が一体となって活動する初めての試みを行いました。今回の活動を通して、街がきれいになる心地よさを全員で共有することができました。

今後も、多くの企業に声を掛け、清掃活動以外の活動も模索し、地域の社会貢献活動の輪を広げていきたいと思えます。



みんなでゴミ拾い



早朝にもかかわらずたくさんの方が参加しました！